

令和 4 年度 第 2 回教育課程編成委員会

報告書

於：令和 5 年 3 月

日時：令和 5 年 3 月 7 日（火） 10:30～13:00

場所：長野理容美容専門学校校長室

令和4年度 第2回教育課程編成委員会 報告書

日時：令和5年3月7日（火） 10:30～13:00

場所：長野理容美容専門学校校長室

出席者：SORA 伊藤先生 スタジオエーワン 小出先生
松林校長・柏原教務主任・中澤主任

1、校長挨拶

新校舎でスタートし、1年が過ぎようとしています。昨日、美容科2年生は無事全員学科の国家試験を受験し、3月31日の合格発表を待つばかりです。1年次は仮校舎で窮屈な生活を強いられてきましたが、商業施設の中のビルでの生活は、他の期にはない学びを得られることが出来ました。また新校舎から初の卒業生となり、新たな歴史を刻むことになると思います。自己評価委員会や学校関係者評価委員会でのご意見や提案も踏まえ、今回も忌憚ないご意見を頂きますようお願い申し上げます。

2、自己評価委員会、学校関係者評価委員会報告

伊藤委員：生徒の質は時代によって変わっていくので、教育も変えていかなければならない。お客様に喜んでいただける美容技術、メンタル、守らなければいけないことなどを柔軟に教育していかなければいけないが、長野校はしっかりと教育している。

小出委員：美容師として必要なカウンセリングは、お客様にヒヤリングしお客様の魅力をさらに引き出すことが仕事である。そういった仕事の人材育成には、指導する時にも言い方を工夫し、いけないことはいけないと明確に示すことが大事。学修成果などを見ると、指導の方向性が定まっていて、努力してコミュニケーションが取れている表れであると思う。1年生から実践的な楽しい授業を摂り入れている。健康管理も大事な要素。健康でないと集中できない。心配な生徒に関しては保護者と連絡を取り合っているとの事、大事な事である。少子化が進み各職業人不足である。美容組合でも美容職業説明会や中高生の職場体験など技術体験を行い、美容師のアピールを行っている。

伊藤委員：奨学金の生徒が多いとの事であるが、勤務が始まるとすぐに返していかなければならない。勤務が始まるとすぐに奨学金の返済が始まるため、奨学金を借りているか確認をしている。

重点目標について

小出委員：当たり前前の方があたりまえにできる。そして笑顔が大事。指導者も生徒がみている。美容業界であるので、美意識を常に高く持っている必要があるのではないかと。

伊藤委員：重点目標の大事にしている芯の部分が長野校の特徴。『折れない教師でなけ

れば、折れない学生を育てられない』この熱量でだいぶ違ってくる。時代に合わせて、威圧的にならない指導方法で、熱量を伝えていくことが、生徒にも必ず伝わっていくと思う。長野の学校の特徴であり、長野の学校で大丈夫と思ってもらえる。インスタなどの SNS では、口コミが後押ししてくれる。サロンでは労働 8 時間であり、練習も含めた労働時間である。新入社員の親からも問い合わせがあるくらいなので、営業時間中にデモンストレーションやチェックも行わなければならない。自主トレもこちらから「やりなさい。」となかなか軽く言えない時代である。横のつながりもあるため、あまりデビューを遅くできない。

小出委員：ユーチューブなどを見て、できると思ってしまうことも怖い。お客様一人一人違うのに。

伊藤委員：自分たちの学んだやり方では通用しない世代になってきているが、お客様のためという軸がぶれないことが大事。

3、カリキュラムについて

パーマ、シャンプーヘッドスパ、髪質改善を入れていく。選択授業ではカラーが人気。着付け・カットの選択 60 時間も、そろそろ組直しが必要なのではないかと。着付けの技術理論は例年着付けを選択していない生徒にとって不得意分野になる。また、カットを選択している生徒に比べ、着付け選択の生徒は 60 時間分の後れを取っているため、国家試験カットの際も難しくなってしまう。着付けを初中伝から専攻科にしてもよいのではないかと。

伊藤先生：ネイルは一般サロンでは必要ない。ネイルも選択制でよいのでは。カット、カラーの力をつけてきてもらいたい。サロンに入ってワンメイクができる、即戦力になる。カットよりカラーへの興味がある人が多いと思う。ハイブリーチもどこまでするとどうなるのか、色や痛み方なども多少わかっていくと、サロンでの働き方も違ってくると思う。ネイルは専攻科などに持っていか、メイクはブライダルやアップセットなどに組み込むとか、その先の SNS にやコンテストにつながる撮影に持っていったらどうか。検定 30 時間は必要か？カラー→ブリーチ→ウェービング or バレイヤージュ→ON カラーなどで 60 時間全員受けてもよいのではないかと。

小出先生：着付は人気あるが、着物を買えば無料で着付という呉服屋さんが多い。成人式や卒業式など着付ができる人が少なくなっている。

学校： 選択メイクはカラーに比べて人気ではない。韓国メイクなど時代に合ったメイクや作品作りをメインに内容を検討していきたい。外来カットに関しては、実習室をうまく活用し、ブロー技術までしていくとよいと考えている。パーマ技術では、縦巻きやスパイラルパーマ、根元巻き、中間巻き、ストレートアイロン等などトレーニングしてから実習に入るとよいと思った。

小出委員：縮毛矯正、デジタルパーマ、メンズパーマなどパーマも様々なスタイルがで

きるとよい。早くお客様に入れると楽しい。楽しいと離職率も下がると思う。

伊藤委員：貪欲にアプローチできるとよい。限られた時間内に「ここを教えてください。」と先輩に聞ける人は伸びる。

4、職業実践専門課程について

メイク、ネイル、コミュニケーション、カット、カラーの5つで職業実践の科目として
いるがこのままでよいか、研修はこのままでよいか。

伊藤委員：メイクの60時間は必要か。検定は必要か。

学校：メイクは検定取得のため30時間ほど使用している。外部講師のメイク授業が印象に残っているようなので、韓国メイクのような今流行している美容技術が必要となっ
ていくと思う。

小出委員：どれも必要な技術であるため良いのでは。

ネイル、メイクに関しては今後検討していくようであるため、授業内容の変化があれば
そこに対応していくとよいと思う。

5、生徒及び業界から

中澤委員：1学年美容科、検定試験なども受け、授業も進級前の最後の仕上げになって
きている。メイクセミナー&就職ガイダンスで就職に向けても取り組んでいく予定。BB
科はJNA検定終了し、プロの顔つきになってきている。担任の先生がしっかりと育て
ている。2学年は仮校舎でスタートし、気持ちが安定していない生徒が多い時もあった
が、実技試験では落ち着いて取り組んでいた。BB科は新人の職員が担任であるが、落
ち着いてしっかりと指導している。様々な生徒の精神状態や家庭環境の中、声を掛け合
いながら一人一人に沿った指導を心がけている。

伊藤先生：労働時間内で教育していかなければならない。美容師は守らなくてよいとい
うことはない。美容師はお客様に喜んでいただき感動して頂く仕事。そこまで仕上げる
のに以前と比べて難しい。美容学校に入ってきてくれる人がいないと業界も栄えない。

小出先生：コロナから丸3年たちようやく落ち着いてきた。5月8日から5類に下げら
れるようだが、美容師としてどのように接客技術をしていくかを思案している。3月1
3日からマスクは本人の判断になるが、美容師がマスクを外して仕事ができる段階では
ない。長い時間お客様と接して行う技術者であるため、自殺防止のゲートキーパーとし
ての役割として期待されている。元気のないお客様に元気になっていただけるような仕
事でもあるという誇りを持ち、こういった講習会もあるので、興味のある方は学んでい
ただくとよい。7月24日に美容組合と美容商によるコンテストを松本キッセイ文化会
館で行う。こちらもよい経験になると思うので、参加して行ってほしい。

校長より

学生満足のため、職員と生徒で盛り上げていきたい。

次回、教育課程編成委員会 令和5年8月7日 14:00～

令和5年3月16日

教育課程編成委員

小出誠司様

長野理容美容専門学校

校長 松林真紀

教育課程編成委員会報告書

昨日はお忙しい中、貴重なご意見を頂きありがとうございました。

教育課程編成委員会の報告書を同封いたしました。ご査収の程宜しくお願い致します。

令和5年3月16日

教育課程編成委員
伊藤秀一様

長野理容美容専門学校
校長 松林真紀

教育課程編成委員会報告書

昨日はお忙しい中、貴重なご意見を頂きありがとうございました。
教育課程編成委員会の報告書を同封いたしました。ご査収の程宜しくお願い致します。